

スマートシティガイドブック分科会の活動状況

参加メンバー：自治体 15 団体、大学 1 団体、企業等 57 団体、合計 73 団体

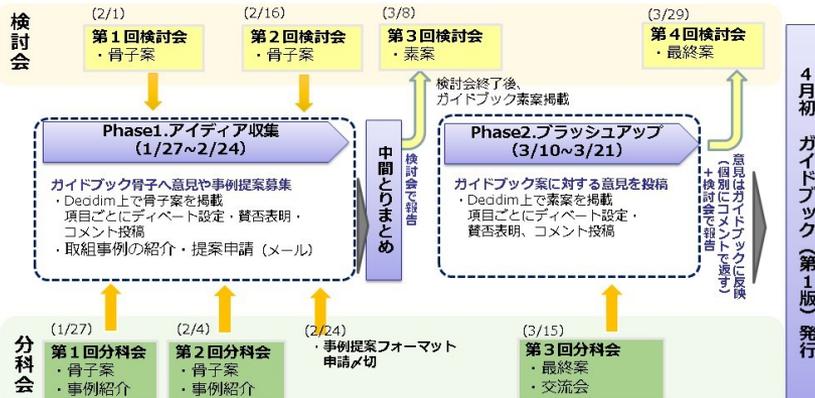
- 自治体：会津若松市、宇都宮市、岡崎市、加賀市、加古川市、柏市、さいたま市、札幌市、四條畷市、静岡県、高松市、浜松市、藤枝市、松山市、前橋市
- 民間・大学等：DGコミュニケーションズ、Gcomホールディングス、JTB、KDDI、KPMGコンサルティング、NECキャピタルソリューション、NTTコミュニケーションズ、PJP Eye、(一社)Publitech、PwCアドバイザリー(同)、PwCコンサルティング(同)、scheme verge、TIS、unerry、Vivasia S&C、アール・アイ・イー、アイ・ビー・テクノス、アウトソーシングテクノロジー、アリオン、市浦ハウジング&プランニング、インテル、小田急電鉄、柏の葉アーバンデザインセンター、京セラコミュニケーションシステム、近鉄グループホールディングス、シスコシステムズ(同)、神姫バス、住友商事、ゼンリン、ソフトバンク、ダイダ、竹中工務店、中央復建コンサルタンツ、デジタルガレージ、有限責任監査法人トーマツ、凸版印刷、東京海上日動火災保険、南国殖産、西日本旅客鉄道、西日本電信電話、日建設計、日本総合研究所、日本電気、日本電信電話、(特非)日本PFI・PPP協会、日本マイクロソフト、パーソルイノベーション、福島産業創生協議会、福山コンサルタント、(一社)不動産協会、三井住友トラスト基礎研究所、三井不動産、三菱地所設計、三菱電機、三菱UFJ銀行、森ビル、ラック、早稲田大学

分科会での活動概要

・2021年1～3月にかけて3回開催、ガイドブック本編に対する意見出しと修正提案を実施。検討会への提示。

検討プロセス

- 2つのPhase (アイデア収集 (1-2月)、ブラッシュアップ(3月)) を経て 4月に第1版発行
- 骨子案・本文案はDecidim上で共有し、検討会・分科会メンバーからコメント投稿



分科会の活動成果

地方公共団体や公民連携の協議会等がスマートシティに取組むにあたり参考となるガイドブックの内容についての議論や事例収集を行い、反映すべき点について検討。



展望

・2021年1～3月のガイドブック検討会における継続検討課題(次頁)について、引き続き分科会で議論することにより、意見を集約し、改訂につなげていく。

主な継続検討課題（例）

継続的な更新

- ✓ ガイドブックを出したままにしないことが重要。MaaSのデータ連携ガイドラインも、コロナ禍を踏まえてver2.0への改訂を行った。ガイドブックを強化していく取組が重要。
- ✓ 改定については、バージョン2ではなく、バージョン1.1、1.2というように小刻みに変えていけばよい。ガイドブックを踏まえて実施された活動を踏まえて、ベストプラクティスを入れ込んでいくことも想定される。

周知展開

- ✓ ガイドブックは使われないと意味がない。そのためには、市民に近いところまで幅広くガイドブックの存在を周知することが必要
- ✓ 日本のスマートシティについて、海外から情報提供の依頼を受けることがある。どこかのタイミングで英訳も検討したほうがよい。日本の持っているノウハウを発信できると、海外からもいろんなノウハウが入ってくると考える。

官民の連携体制

- ✓ このガイドブックの運用方法や体制は今後重要である。ガイドブックを作って、それを読んで地方自治体やエリアマネジメント組織の方で自由にやってくださいと言って放り投げるものではない。
- ✓ 今後の取り組みは重要。30年ほど前、インテリジェントビル等を推進した場合には、低利融資、固定資産税軽減、加速度償却等、バトンを民間に渡していくタイミングがあった。一方、スマートシティは取組が広範に広がっているため、当時ほどバトンが優しくない。プラットフォームの運営主体やガイドブックのアップデートの責任の持ち方などに工夫がいると考える。

資金的持続性

- ✓ 資金的持続性については、皆でエコシステムをつくっていく空気が重要。これから煮詰めていくところで、現時点でビジネスモデルがあるわけではない。スマートシティで完結しない資金調達も考えていく必要があり、今後もチェックしていき、長いスパンでアップデートしていくことがよい。

グリーン化との関係

- ✓ 最近の流れは世界的に言うところ「グリーン×テクノロジー」であるので、カーボンニュートラルやグリーンテックに関する事例をもう少し増やせないか。

取組の評価

- ✓ 次年度の取組として期待することとして、取組の評価についてである。どういったことを目標として頑張ればいいのかということが自治体や関係者の中で納得できるようになるよう、取組まれた内容や、どう汗をかいているか、よかったポイントを整理できるとよい。